

令和４年度第１回 東京都後期高齢者医療広域連合
選挙管理委員会定例会（書面開催） 各議題に対する意見等調査票 取りまとめ結果

議題１ 選挙管理委員会概要について

⇒意見等特になし。

議題２ 後期高齢者医療制度の最近の動向について

○【質問】資料２「窓口２割負担の導入について」について、２割負担となる方の人数は？

⇒約３８万人です。（現時点では見込みの数値しかわかりません）

○【意見】「窓口２割負担の導入について」の「４今後の取組(3) 周知広報」について、よく見ない人が多いと思われる。字が小さくわかりづらい。

○【質問】「減額認定証」や「限度額認定証」の対象者の人数は？

⇒減額認定証：約３７万人、限度額認定証：約６万８千人です。（令和４年８月時点）

その他

○【質問】令和４年７月から１０月に負担割合が変わるまでの８月～９月の２カ月間、新たに藤色の保険証を取り入れるべきであったのかどうか？高齢者にとって大変わかりにくいと思います。医療機関でその間（２か月）対応することはできなかったのか？また、事務費や郵送費は、そのためにどの位支出したのか？

⇒今回の窓口２割負担導入による被保険者証の交付時期・回数（８月と１０月の２回交付）の方針については、国（厚生労働省）が決定しております。

窓口２割負担導入にかかる費用については、直近の一斉更新年次との比較（令和４年度と２年度の比較）となりますが、令和４年度の予算額は、令和２年度と比較して約７千万円増加しております。ただし、この増加費用の中には、窓口２割負担導入にかかる費用以外のもの（被保険者数の増加に伴うコスト増等）も含まれております。